

部局名	教育委員会	所属名	文化伝承館	所属長名	木原 善和	電 話	458-1700
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3540		事務事業名称	文化伝承館運営事業					短縮コード	経常	3540	臨時	3488
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	文化伝承館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例、八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例施行規則、八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間等に関する規程							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成8年5月 市内に残る無形の民俗文化や日本の伝統文化の保存・継承・育成そして振興と発展を目的として開館し活動を始めた。事業活動促進のため、伝統文化活動の施設の場の提供することと普及啓発のため、主催講座の開催や伝承文化資料の展示を行う。また、調査保存継承のために、民俗文化の調査や記録保存のためのビデオ作成を実施している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
開始当初に比べ館が広く周知され主催講座等の参加者が増加した。しかし、開館10年が経過し、参加者の利用者の固定化・定着化が見られ、今後新たな事業を計画し、増加する方法を考える必要がある。						大項目（節）	05	文化					
						中 項 目	02	文化財					
						小項目（施策）	01	文化財の保護と活用					
						細 項 目	03	伝統文化の継承					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市に残る伝承文化・民俗文化をより多くの市民に広めたいために文化活動をしようとしている市民。						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 主催講座事業・伝統文化に親しむ会（花見の茶会・七夕・月見・雛節供）・八千代の民俗文化再発見・男性茶道入門・子供茶道入門・伝承文化を習おう（昔遊び編・紙芝居編）子どもの邦楽入門（尺八）・つるし雛づくり・広報事業 文化伝承館だより「継」10号発行・伝統文化活動の施設の場の提供						
	※平成19年度に計画していること： 主催講座事業・伝統文化に親しむ会（花見の茶会・十五夜の月見・雛節供などの茶会）・八千代の民俗文化再発見・子供茶道入門・子供邦楽入門（琴）・伝承文化を習おう（昔遊び編・物づくり編・紙芝居編）つるし雛作りなどの事業・広報事業 文化伝承館だより「継」11号発行・伝統文化活動の施設の場の提供						
意図 （何を狙っているのか）	主催行事への参加者増加・八千代に残る伝承文化・民俗文化に興味をもった人が増えること・紙芝居の貸出、八千代に残る昔話を紙芝居にして残し伝える。伝承文化ビデオを貸出し市域の行事を市民に伝える。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	子供から高齢者までの市民	人	184, 979	187, 000	186, 650	189, 000
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	開館日数	日	292	292	292	292
	指標 2	利用人数	人	19, 778	21, 000	18, 296	20, 000
	指標 3	伝統文化や民俗文化に関する講座数	講座	104	80	105	100
成果指標	指標 1	主催講座参加者	人	2, 561	3, 000	1, 770	2, 500
	指標 2	伝承文化ビデオの利用回数	回	5	5	5	5
	指標 3	紙芝居貸出回数	回	21	25	16	20
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3540	事務事業名称	文化伝承館運営事業			所属名	文化伝承館
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	439	482	416	1,489	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			主催講座指導報償費 20千円 事業消耗品40千円 事業写真・印刷製本費11千円 電話運搬通信費123千円 委託料55千円 複写機借上料187千円	報償費50千円 消耗品費54千円 食料費3千円 印刷製本費10千円 通信運搬費286千円 委託料56千円 使用料及び賃借料19千円	主催講座指導報償費 50千円 事業消耗品53千円 事業写真・印刷製本費10千円 委託料56千円 複写機借上料19千円	報償費50千円 消耗品費54千円 印刷製本費10千円 委託料56千円 使用料及び賃借料45千円 備品購入費894千円	
	人件費(B)			千円	11,411.8	6,987.8	6,832.1	
トータルコスト(A)+(B)			千円	11,850.8	7,469.8	7,248.1	8,315.8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由			
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		この事業の発展が八千代市全体の伝統文化の継承につながり，ひいては日本人らしい風雅な心を取り戻し，人間尊重都市を目指している。			
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		伝統文化の継承にためには，今後とも継続していく必要がある。			
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		八千代の民俗文化などの保存・継承・育成事業は市が伝えていくものであり民営化にはなじまない。			
☒ 可能性はない								
☐ 評価対象外事項								
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」「意図」の設定で，事務事業を行うことにより結果につながる。				
		☐ 見直す必要がある						
		☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある					
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☐ 可能性がない					
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		主催事業の一部を郷土博物館や社会教育課文化財保護班への委譲することで，文化振興の推進が一層向上できる。				
		☐ 臨時的任用職員等の活用						
		☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
		☐ 受益者負担の見直し						
		☒ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1	文化財保護普及事業	実施主体 (所管部署)	社会教育課
		☐ 上記以外の方法			2	郷土博物館運営事業	実施主体 (所管部署)	郷土博物館
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		郷土博物館や社会教育課文化財保護班との協議が必要である。			
			☐ ない					

コード	3540	事務事業名称	文化伝承館運営事業			所属名	文化伝承館
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			主催事業の一部を郷土博物館や社会教育課文化財保護班へ移すことで、スリム化し、伝承文化の指導活動が一層可能となる。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☒ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業の見直し・スリム化により伝統文化や伝承文化への活動を促進し事業成果を向上することができる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など						
初めて主催講座に参加された方は、このような伝統文化に親しめてこれからもぜひ参加したい。 市内の伝承文化が、これだけ多くあったことは知らなかった。今後もよく参加したい。 学校などからの伝承文化（昔遊びなど）の指導に、ゆいの会の会員の高齢者が行い、異世代交流にも役立ち良かったとの話がある。						

所属長コメント	事業の一部を役割のあった郷土博物館や文化財担当課に移すことで、伝承館がスリム化し、地域の団体や学校からの伝承文化の普及発展のために、ボランティア団体ゆいの会との連携をとり、一層の充実を計る方向に進みたい。					
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続		郷土博物館や社会教育課の所管事業と統合を検討し、改革・改善を推進するために、有効性・効率性を向上させるための手段を中心に検討すべき			
	☐ 手法プロセスの改革・改善					
	☐ 事業規模の拡大・縮小					
	☒ 統合・役割見直し					
☐ その他						
☐ 廃止						
☐ 休止						
☐ 現状のまま継続						